

2014 年度後期 授業評価アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 10

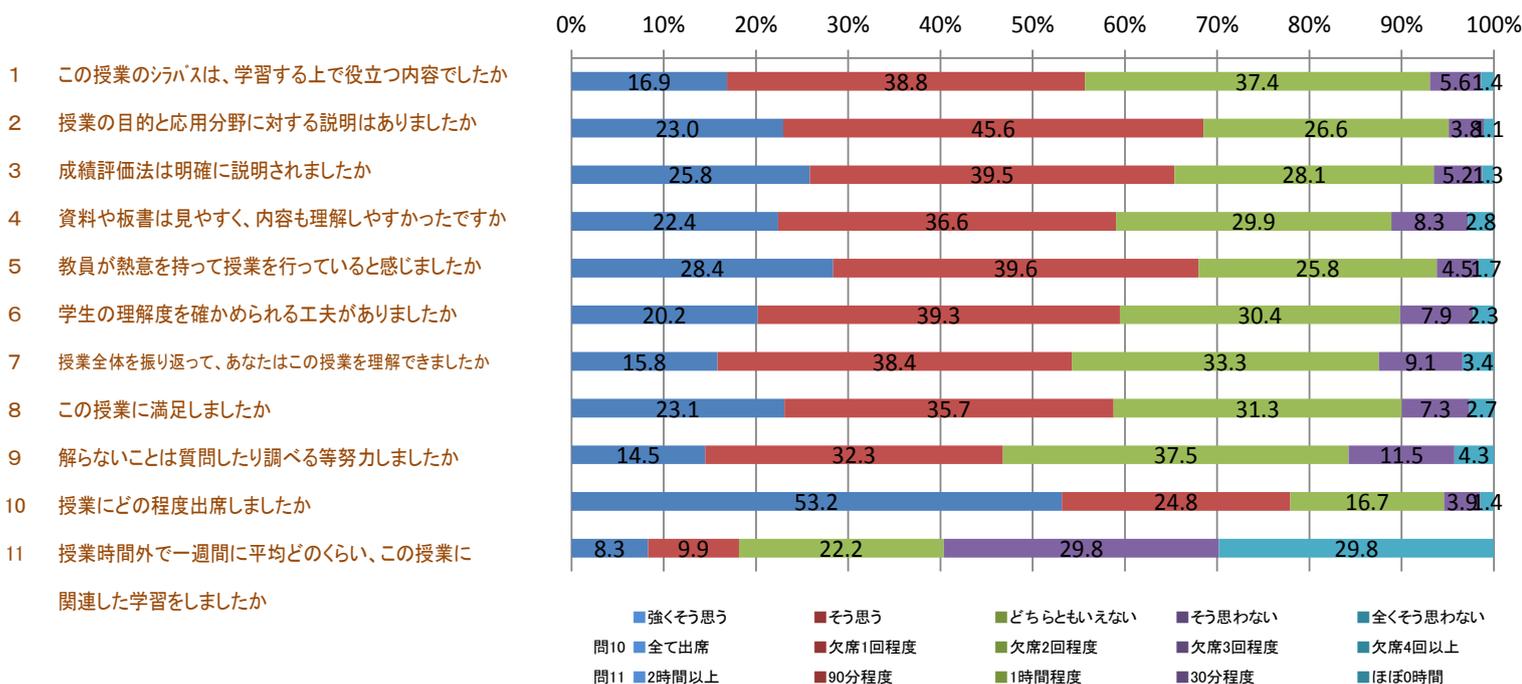
《 学生の皆さんへ 》システムデザイン学部・研究科では 2015 年 1 月 5 日～2 月 6 日の期間、学部と研究科で後期に開講された講義科目を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。
詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部

(対象授業科目数 87 のうち 72 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

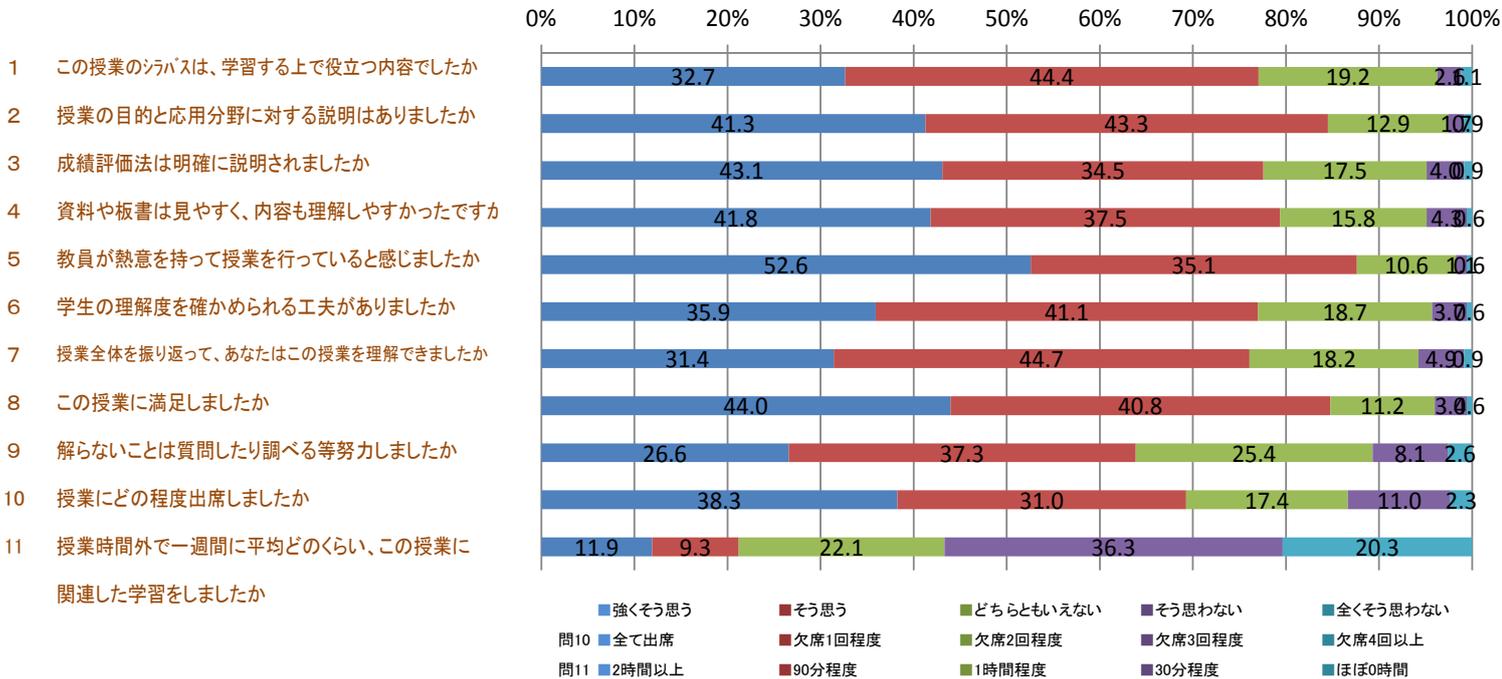
- ・授業終わりの演習は理解を深めるのに効果的であった。また解いた演習が返却・解説されるので後の試験勉強にも役立った。
- ・図が多いときは板書を写すのが間に合わないことが多いので配慮してほしい。
- ・授業内容の前提となる予備知識について詳しく話していただけると、理解しやすかったと思う。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・理論を講義で学習した後に、実習で学生自身が体得することで、内容の理解を深めるよう工夫している。
- ・プロジェクターへのPC入力にデジタル入力インターフェースを設けて欲しい。

システムデザイン研究科

(対象授業科目数 38 のうち 27 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・ビデオ教材や、現地の方のお話などにより、テーマをよりリアルに理解することができた。
- ・自分の専門分野以外について学べる貴重な場だと感じた。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・自由討論形式をとり入れ、学生が自発的に授業に参加できる場としました。
- ・図・ビデオを活用する。前回の授業の復習を最初に行う
- ・もっとグループワークを増やしたいが、出席頻度にバラツキがあってむずかしい。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2014 年度後期アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。各設問での回答に加えて、自由記述欄からは数字で表せない実態を得ることができています。これらのアンケート結果は回答者個人の特定ができないよう形に処理された上で、ここの教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。今年度も前期のアンケート実施を予定しております。新たに、学生に教室の環境についての意見をきく設問を設けました。授業及び教室環境の改善のために、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2015 年 6 月 29 日